

世界の自動車グループ地図・・・そのブランドは、どこの一員か

縦＝グループ／横＝本拠・傘下ブランド・得意分野・日本での見かけ方。憧れのあの車が、実は知っている会社の一員だったと分かります。

● ドイツ ● フランス・欧州 ● アメリカ ● 日本 ● 韓国
● 中国 ● その他

グループ 一言でいうと	本拠 国	主なブランド 太字＝日本で正規に買える／★は資本関係でなく提携	得意分野 力を入れている場所	日本での見かけ方 買う人の目線で
フォルクスワーゲン 大衆車から超高級まで抱える	ドイツ	フォルクスワーゲン ／ アウディ ／ ポルシェ ／ランボルギーニ／ベントレー／シュコダ／セアト・クブラ	車台やエンジンの共通化。電動化にも大規模投資	輸入車の中心。販売店も部品も比較的そろっている
メルセデス・ベンツ 高級車の基準を作った会社	ドイツ	メルセデス・ベンツ ／AMG／メルセデス・マイバッハ	安全装備の先行と、長距離の快適さ	日本の輸入車で常に上位。中古の流通も多い
BMW 走りで選ばれる高級車	ドイツ	BMW ／MINI／ロールス・ロイス	前後の重量配分と操縦性。直列6気筒エンジン	MINIは女性にも人気で台数が多い＝維持しやすい
ステランティス 欧米14ブランドの連合（下は主な13）	オランダ／欧州・米	プジョー ／ シトロエン ／DS／ フィアット ／ アルファロメオ ／ ジープ ／マセラティ／ランチア／オペル／クライスラー／ダッジ／RAM／アバルト	小型車から本格四駆まで幅が広い。足まわりの味付け	フランス車とジープが身近。同じグループなので部品が共通のことも
ルノー・日産・三菱 国境をまたぐ連合	フランス／日本	ルノー ／ダチア／アルピーヌ　★提携＝ 日産 ／ 三菱	小型車と電動化。軽自動車の共同開発も	日産・三菱は国産扱いで買える。ルノーは輸入車として
吉利（ジーリー） 中国資本で欧州ブランドを育てる	中国	ボルボ ／ポールスター／ロータス／リンク＆コー／スマート（合併）	安全思想と電動化。北欧の設計を維持したまま投資	ボルボは日本で人気。中国資本だが開発はスウェーデン
タタ インド資本の英国ブランド	インド	ジャガー ／ランドローバー	悪路走破と英国流の内装	維持費は高めの部類。扱える工場を先に確認
現代自動車 短期間で世界規模へ	韓国	ヒョンデ／ KIA／ジェネシス	電気自動車と装備の充実。価格の設定がうまい	日本では販売網がこれから育つ段階。中古相場は未成熟
BYD ほか中国勢 電池から車まで自前で作る	中国	BYD ★別会社＝MG（上汽）／NIO ほか	電池を自社で作れる強み。価格と装備	日本では乗用車の販売が始まった段階。整備網と中古相場はこれから
GM／フォード アメリカの二大メーカー（別会社）	アメリカ	GM＝ シボレー ／ キャデラック ／GMC　 　フォード＝フォード／リンカーン	大きな車体と力。ピックアップトラック	日本での正規販売は限られる。車体の大きさが最大の関門
テスラ 電気自動車から始まった会社	アメリカ	テスラ	電気自動車と、通信で機能を更新する仕組み	販売も整備も従来のディーラーとは別の形。充電環境が前提
日本メーカー各社 第3講で扱った各社。ひとつのグループではない	日本	★資本関係はさまざま＝ トヨタ ／ レクサス ／ ダイハツ ／ スバル ／ ホンダ ／ マツダ ／ スズキ	耐久性と量産。ハイブリッド	詳しくは第3講のメーカー別ページへ

🔍 グループで見ると分かること

同じグループのブランドは、車台やエンジンが共通のことがあります。つまり整備の知識と部品が共通になる。憧れのブランドでも、身近な兄弟がいれば維持のハードルは下がります。逆にグループが変わったばかりの時期の車は、部品の流れが読みにくく、買入時最新の形を確認する必要があります。

💡 国籍より台数で見る

「外車は維持費が高い」は大ざっぱすぎます。正しくは、日本で売れている台数が多いほど部品が流通し、扱える工場が増え、中古相場も安定するということ。国籍の問題ではなく台数の問題です。

⚠️ 資本と開発は別のこと

ボルボは中国資本ですが開発はスウェーデンです。ジャガーはインド資本ですが英国で作られました。どこの資本かと、どこで誰が作っているかは別の話。ここを混同した書き込みが多いので注意してください。